

# 一貫教育校の広場

ニューヨーク学院  
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢  
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚園

## 湘南藤沢中等部1年生、218人を迎えて

●湘南藤沢中等部・高等部 教諭

久松宏二  
ひさまつこうじ

2019年度から横浜初等部（以下、初等部）の第一期卒業生を迎えて、1年生の人数は218人（男子114人、女子104人）となった。一クラス36人で6クラス編成（その内訳は初等部106人・幼稚園2人・一般76人・帰国34人）。1年担任も12人に増えての学年団。小中高一貫教育というコンセプトで、どういう受け入れ方が湘南藤沢中高らしいか。この半年余り担任団は日々生徒たちと向き合っている。

4月。「お互いの個性を受け入れ理解し協力する。思いやりの気持ちを常に持って行動する」などを学年目標とした。入学式では塾長と部長が声をかけ合うことの大切さを説いてくださった。生徒の作文には「『こんにちは』と声をかけることで新しい仲間が増えていく。それまで緊張していたが、声をかけ合う勇気を持つことができた」とあった。今年はその役目を



富士山麓での自然教室にて

初等部出身の諸君が、今までにないダイナミックさで展開した。教室も廊下も1年生のフロアは、小学校を卒業したての明るい声で毎日満ち溢れていた。初等部出身者は明るく素直で「自我作古」という言葉を好む。先輩との出会いを楽しみにしているところは1年生らしい。また受験で入学した生徒たちも、今年ばかりみると仲間を増やし、それぞれが大いに刺激を受け合

った。そして2学期。生活面・学習面において習慣づけつつこつこつとやれる生徒たちには、受験の有無など関係なく頑張る姿が見受けられる。5月以降、部活が始まり上級生に一から教えを受けながらも今やれつきとした中等部の部員。体連は2年の先輩たちと切磋琢磨し、文連は高等部の先輩とともに文化祭を盛りあげた。半年を経過して中等部生らしさを1年生から感じる。

それは部活後に中庭ですれ違う時の挨拶や、先生たちと数人で立ち話をする時の話題など、何気ない時にもある。こうした成長は上級生の存在が大きい。特に高等部生の存在だ。1年生のすぐ隣の教室で高等部生が授業を受ける。廊下でも高等部生とすれ違うといった日々の生活は、湘南藤沢中高では当たり前の生活だ

が、1年生にとってはこういう生活、ちょっとした背伸びのできる環境と雰囲気、安心して伸び伸びと毎日の学校生活を送れることにつながっていると思う。

湘南藤沢中高等部での学校生活はまだまだこれから。面倒見がよくやさしい生徒が多い学校で、先輩・仲間・後輩とのつながりを作っていく中で学年の成長を期待したい。